



NPO PTPL “ともいき” 便り No.154

平成 30 年（2018 年）9 月 8 日発行

■白露（はくろ） 平成 30 年 9 月 8 日から 9 月 22 日までの節気

「白露」の節気です。二十四節気では「仲秋」の時季にあたります。

今年の 7 月から 8 月は異常といえる厳しい暑さが全国的に広がり、気温 40 度以上を記録することも、珍しくなくなりました。

特に、7 月の西日本災害に代表されるように各地で洪水、土砂災害、竜巻などによる被害が多発し、多くの尊い命が奪われました。世界でも稀な自然災害が多発する日本において、技術力がある日本がなぜ、毎年来る台風などの自然災害に対応できていないのか、今こそ、自然に対し畏怖畏敬の念を持つこと、国民の生命と財産を守るということは政治家や官僚に任せるだけでなく、日本人全員が考え、知恵を出していかなければならないと思います。

さて、台風といえば 9 月 1 日（土）は「二百十日」、9 月 11 日（火）は「二百二十日」です。本来はこの時季から秋台風が襲来するといえます。今年は 8 月までに 21 個が発生しましたが、4 日から 5 日にかけて、大型の台風 21 号が四国東部に上陸し、神戸に再上陸しました。この台風の被害の特徴は高潮と強風による想像以上の関西国際空港や神戸港などの惨状、そしてまたも尊い命が失われ、多くのけが人が出てしまいました。心よりお悔やみ申し上げます。

台風シーズン本番はこれから。今年は台風の発生が多いと予想されています。これ以上大きな被害が出ないことを祈るばかりです。台風に遭遇する地域の方はくれぐれも早めの避難を心掛けていただきたいと思います。結果が空振りであってもそれはそれでいいことなのですから・・・。

9 月 8 日（土）は「明治改元の日」。1912 年のこの日、近代天皇制を打ちたてた明治天皇が「午前零時 43 分」崩御されたと公表されました。

1867 年（慶応 3 年）1 月 9 日に「踐祚（せんそ：皇嗣が天皇の位を受け継ぐこと）」した睦仁親王が 1868 年（慶応 4 年）8 月 27 日に即位式をあげ、1868 年 9 月 8 日、

この日に「明治」と改元されました。この時から一世一元の制度が決められました。明治、大正、昭和そして平成と今年で元号が 150 年と続き、大変な激動を乗り越え、来年は御代替わりという日本にとっては大きな大きな時代の節目を迎えます。

9月17日（月）は「敬老の日」です。「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」として1966年に制定された国民の祝日です。

もとは9月15日であったが、祝日法の改正により、2003年から9月の第3月曜日になりました。

どうも祝日法の改正により、ハッピーマンデーと呼ばれ、国民の祝日が月曜日になることがしっくりしません。本来、国民の祝日の制定日にあたってはちゃんとした理由と意味付けがあるはずですが、ただ三連休を増やすという考え方を基本にすることがはたしてよいのでしょうか？

さらに、急速に進行する高齢化社会にあって、経験も知見も豊富で体力も気力も旺盛な高齢者が数多くいらっしゃいます。今の日本では不幸なことにこれらの高齢者の方の処遇が不整備で、海外に流出しています。これは日本にとって国益を損なっています。いま政府では「働き方改革」や「外国人労働者受け入れ」を同時に推進しようとしています。まずは日本人である女性や高齢者の活用、そのための環境づくりを真剣に考え、そのうえで外国人労働者の受け入れというのが政策の順番ではないのでしょうか。特に外国人労働者受け入れについては、安い賃金労働者雇用対策にしか思えません。結果的には日本人、外国人労働者双方が不幸になるのではないのでしょうか？ 皆さんはいかがお考えですか？

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

「地震国」日本 列島の活断層・・・①

平成30年6月18日大阪府北部に地震が起きました。ここ数年でも、平成28年には1月4日浦賀湾、5月16日内浦湾、10月21日鳥取県中部、11月22日福島県沖、12月28日茨城県北部、平成29年10月6日福島県沖、6月25日長野県南部、7月1日胆振地方中東部、7月11日鹿児島湾、平成30年4月9日島根県西部などの地域で地震が発生しています。

わが国は、地震国であり、火山国です。日本列島は世界有数の地震多発地帯です。海溝沿いでは巨大地震が周期的に発生してきました。古くは、『日本書紀』に、推古天皇7年（600）に発生した地震の記録があります。それに、住居が悉（ことごと）く倒壊したので国中に命じて地震の神を祭らせたとあります。

平安時代の貞観11年（869）5月26日に、平成23年東日本大地震の時に思い起こされた、陸奥国東方沖で大地震が発生しました。地震と津波による被害は甚大でした。

『三代実録』に、家屋が倒れ、地が裂けて埋もれて、多くの死者が出ました。馬や牛は驚いて走りまわり互いに踏みつけた。城郭倉庫、門櫓垣壁の崩れ落ち覆（くつがえ）るものは数知れない。湊は咆えくるって雷の声のようであった。津波が渦巻いて忽ち城下に達した。海から数十百里まで広々としてその果てはわからない。原野も道路もすべて海浜となった。船に乗る間もなく、山に登ることも出来ずして、溺れ死ぬ者、千ばかり。資産も稲苗ほとんど遺すものはないと記しています。その夏は日照りがつづき五穀は不作であった。清和天皇は、これらの災害は、自らの不徳によるものとして、死者の埋葬、稲穀・布・塩などの支給、租・調の免除、寡婦老人の援護など救済策をとった。そして、伊勢神宮に鎮護国家の奉幣を行いました。

元慶2年（878）9月29日に関東諸国で直下型の大地震が発生し、特に相模武蔵の被害は大きかった。さらに、仁和3年（887）7月30日には五畿内諸国に同時に大地震が起きて、海潮が陸に漲って溺死する者は計り知れなかった。この仁和地震は、南海トラフ巨大地震のことだとみられています。

近世期には、慶長元年（文禄5年1596）閏7月7日、大坂・京都及び畿内の大地震が発生しました。7月12日の夜半、激震が走った。この慶長伏見地震で完成したばかりの伏見城は天守閣などことごとく崩れ落ちました。多数の圧死者が出て、特に、この日城中に居た上臈女房（じょうろうにょうぼう）など数百名の女性が犠牲になりました。この有馬一高槻断層を震源とする慶長地震の400年後に発生したのが平成30年の大阪府北部地震です。

江戸時代にも各地で地震が発生していますが、慶長9年（1605）には東海南海西海諸道、慶長16年（1611）、三陸及び北海道東岸などの地震がありました。元禄16年（1703）には、江戸・関東諸国の大地震が起きました。相模トラフのプレート境界地震とみられ、津波ともないました。房総半島の漁村では6000人以上の命が失われ、家屋の前は9600余に達したといわれます。相模湾沿いの小田原藩に被害が集中し、小田原城も倒壊し類焼しました。その4年

後の宝永4年(1707)10月28日巳の未刻、南海トラフのほぼ全域で、東海・東南海・南海地帯に連動して地震が発生しました。宝永大地震です。東海・近畿・四国を中心に建造物が甚大な被害を受け、房総半島から瀬戸内・九州まで津波が押し寄せました。宝永地震の49日後、宝永4年(1707)11月23日、富士山が大噴火しました。空中10Kmの高さまで噴出した軽石や砂が偏西風によって富士山より東の広い地域に降りました。江戸でも微動がつづき、黒い砂が降りました。

弘化4年(1847)3月24日夜10時頃に長野盆地西縁断層に発生したM7.3の信濃大地震は出火もともない、善行寺地震とよばれるとおり善光寺境内には大きな被害がありました。虚空蔵山(こくぞうざん・現岩倉山・標高760m)大崩落して村を巻き込みながら犀川(さいかわ)になだれ込みました。土石は犀川を堰き止め、その後一気に決壊しました。犀川から千曲川沿いに大洪水が発生して、松代藩を中心に上田藩や飯山藩などは、多くの人命が失われ、建造物の倒壊や田畑の流失にと甚大な被害を受けました。洪水は最後には下流の新潟に達し日本海に入ったといいます。

江戸時代後期の安政年間には、日本各地で大地震が連発しました。弘化6年(1853)2月2日の小田原地震は東海諸国に及びました。嘉永6年(1854)6月13日に伊賀上野地震が起きました。そして11月4日には、南海トラフ巨大地震である安政東海地震が起き、東海道袋井宿が壊滅しました。大津波は東海地域を中心に太平洋沿岸におしよせました。そして、翌5日には安政南海地震が発生して紀伊半島から大坂、四国南東部にかけて甚大な被害を与えました。大坂湾に侵入した津波は数百人を水死させ、停泊していた船舟を押し流して多くの橋を破壊しました。

これらの災害の後、嘉永から安政に改元されました。その安政2年(1855)10月2日、安政江戸地震が生じました。今夜四つ時より明け方まで三十余度振動して、十月まで百二十余度に及んだという。『武江年表』は、この災厄に懼り、家族を離れて道路に逃げ、圧死したり焼死したものは数えられないとする。そして、本所はことに振動が烈しく、家々は両側より道路へ倒れかかり、往来するのも困難であると。死亡幾百人なるかわからない。また焼亡の場所が多い、と記す。江戸の町を直下から襲った地震の被害は、埋立地で地盤の弱い本所・深川から浅草田町・下谷茅町・根津・神田小川町・小石川・御曲輪内(おくるわうち)に集中した。死者約1万人の多くは圧死であった。地震により各所で出火が生じ、御曲輪内では薨を並べた諸侯の藩邸は傾いたり倒れたりし、所々

に火災が起こって焼け崩れたという。町屋では、吉原最も多くの死者が出た。

人口の集住する江戸の災害は、火災が頻繁に起こっているが人身の被害は地震によるものはるかに多い。突如として襲う地震は避けることができない。江戸時代、地震は鯰（なまず）の仕業とされ、それを鎮める要石が鹿島神社にあった。神田祭には、大きな鯰の上に要石を置く山車が曳かれた。そこには江戸をあげての地震鎮圧の願いがこめられていました。江戸をはじめとする人口の集住する都市にとって火事と地震は壊滅的な災害となります。」それにあわせて日照りの夏には疫病が流行しました。現代は医学の進歩により疫病の対策はできています。大規模な火災は、消防組織の整った現代でも各地で起きています。その多くは季節風やフェーン現象、日照りによる乾燥など気象状況が被害を大きくしています。

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●9月に入ったばかりだというのに、台風21号が近畿地方を中心に、多くの被害を起こしました。さらに台風が去ったばかりの北海道で6日未明大きな地震が発生しました。被害にあった方々には心よりお見舞い申し上げます。台風シーズンはこれからがまさに本番。被害が出ないことを祈るばかりです。日本は本当に自然災害が多発する国です。台風はある程度予測できますが、地震は突然襲ってきます。本当に日本は豊かな自然に恵まれた国ですが、反面自然の脅威にさらされる国でもあります。よって日ごろの備えと心構え、そして何よりも人々が支え合い、助け合うことが重要ですね。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp